

パイプ用ファン[浴室用] 工事説明書

2301C

型式	機能	用途	適合パイプ
PFS2-100Y	スタンダード	浴室用	φ100
PFS2-150Y	スタンダード	浴室用	φ150

■これらの換気扇は次のパイプに取り付けることができます。 ■パイプフードとの組み合わせによる最小壁厚

取付パイプ呼び径	内形寸法	外形寸法	開口寸法
VPφ100	φ100	φ114	φ115
VUφ100	φ107	φ114	φ115
LPφ100	φ100	φ104	φ105
VUφ150	φ154	φ165	φ165
LPφ150	φ150	φ156	φ160

型式	最小壁厚	型式	最小壁厚
WP-100	17	GFA-150E	95
GFA-100E	83	GFA-150ED	129
GFA-100ED	115	GFL-150E	126
GFL-100E	106	GFL-150ED	160
GLF-100ED	138		

【別売部品】・壁スイッチ ・パイプフード ・ベントキャップ

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

安全上のご注意

- お使いになる人々への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しております。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しております。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示(例)で区分し説明しています。

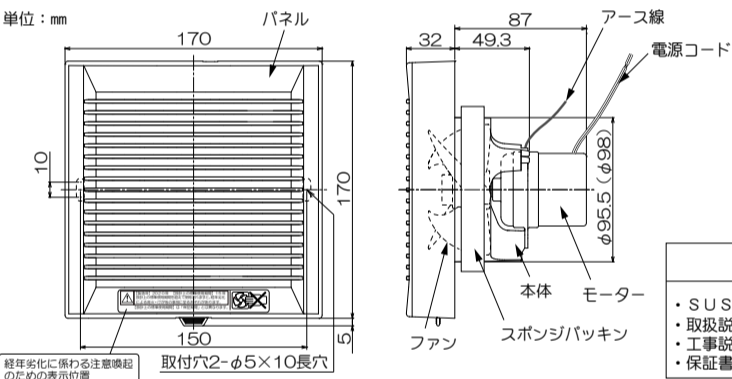
⚠ 記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。

🚫 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

❗ 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中には具体的な注意内容(左図の場合は一般的な強制)が描かれています。

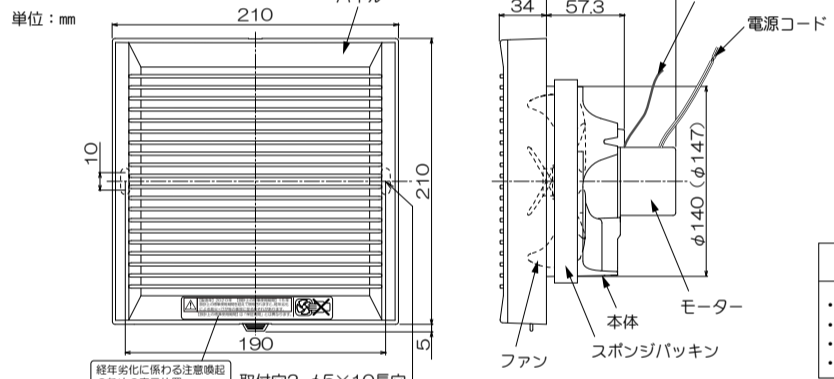
各部のなまえと寸法図

PFS2-100Y



付属品	
・SUSトラス4×25	・2本
・取扱説明書	・1冊
・工事説明書	・1枚
・保証書	・1枚

PFS2-150Y



付属品	
・SUSトラス4×25	・2本
・取扱説明書	・1冊
・工事説明書	・1枚
・保証書	・1枚

取り付け方法 ———— 以下の手順にしたがって施行してください。もう一度型式を必ず確認してください。

1. パイプ・パイプフードの取り付け

壁に取り付ける場合

①取り付け場所を決める。
「安全上のご注意」を参考にし、取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。

■この換気扇は次のパイプに取り付けることができます。

名称	内形寸法	外形寸法	開口寸法
VP管	φ100	φ114	φ115
VU管	φ107	φ114	φ115
LP管	φ100	φ104	φ105
VU管	φ154	φ165	φ165
LP管	φ150	φ154	φ155

②パイプを壁に埋め込む。

お願い

- パイプは必ず取り付ける。
- 取り付け壁面は必ずコーキング処理を施し、パイプがぐらつかないように確実に固定する。
- パイプは屋内側から屋外側において、約3°の下り勾配をつけること。
- 室内側のパイプはみ出しは5mm以下で必ず確保すること。

パイプは壁からはみ出しを5mm以下で必ず確保してください。

③外壁面には、パイプフード(別売品)、ベントキャップ(別売品)を取り付ける。

(特に薄壁(壁厚100mm以下)の場合は、薄壁用のパイプフード・ベントキャップを選定してください。また、パイプフード・ベントキャップが、換気扇本体に当たらないように施行してください。)

●丸形パイプフード・ベントキャップ等を使用するときは、外風や風雨侵入を防止する対策を施してください。

●必要に応じて外周をコーキング処理してください。

お願い

■排気ダクト先端にパイプフード・ベントキャップの防虫網付(細目)は絶対に使用しないでください。

天井に取り付ける場合

①取り付け場所を決める。
「安全上のご注意」を参考にし、取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。

■この換気扇は次のパイプに取り付けることができます。

名称	内形寸法	外形寸法	開口寸法
VP管	φ100	φ114	φ115
VU管	φ107	φ114	φ115
LP管	φ100	φ104	φ105
VU管	φ154	φ165	φ165
LP管	φ150	φ154	φ155

②木枠をつくり野縁に固定する。

単位: mm	
木枠内寸	φ100パイプ □120
使用木枠	φ150パイプ □170
	約30角材

■本体を確実に固定するために必ず木枠を設置してください。

③配管工事をする。

吊り金具(市販品)

接着又はテーピングしてください

エルボ

パイプ

天井

木枠

直管部の長さ100mm以上

コーキングする(パイプ外周)

天井から室内側へのパイプはみ出しは5mm以下にしてください

■パイプの途中に電源コードを引き出す(φ12)を、電源コードが出せる位置に開けてください。

④外壁面には、パイプフード(別売品)、ベントキャップ(別売品)を取り付ける。

(特に薄壁(壁厚100mm以下)の場合は、薄壁用のパイプフード・ベントキャップを選定してください。また、パイプフード・ベントキャップが、換気扇本体に当たらないように施行してください。)

●丸形パイプフード・ベントキャップ等を使用するときは、外風や風雨侵入を防止する対策を施してください。

●必要に応じて外周をコーキング処理してください。

お願い

■排気ダクト先端にパイプフード・ベントキャップの防虫網付(細目)は絶対に使用しないでください。

警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

ガス漏れのときは、換気扇のスイッチを切ったり入れたりしない
ガス爆発の原因になります。

100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

メタルラス張り、ワイラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイラス、金属板とが、電氣的に接触しないよう取り付ける。
漏電したときに火災の原因になります。

注意

直接炎のあたる恐れのある場所には取り付けない
火災の恐れがあります。

浴室などの湿気の多い場所に壁スイッチは設けない
感電および故障の原因となります。

- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によりけがをすることがあります。
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に
接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
- 取り付け・お手入れの際は必ず手袋を着用する
けがをすることがあります。
- 部品の取り付けは確実に
落下によりけがをすることがあります。
- 本体外周のスポンジパッキンは外さない
換気能力が低下することが考えられます。

お願い

●高温になる場所(周囲温度40℃以上)に取付ないでください。
故障の原因になります。

●直射日光の当たる場所に取付ないでください。
誤作動の原因になります。

●浴室の出入口ドアに付いている空気取入口を開いてください。
ドアの空気取入口がない場合はドアを少し開けてください。
効果的な換気ができません。

●製品の前に障害物がないように取り付けてください。
センサーの感知感度が悪くなります。

●アルミフレキダクトには取り付けないでください。
振動の原因になります。

●有毒ガス(亜硫酸ガスなど)の発生がある場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。

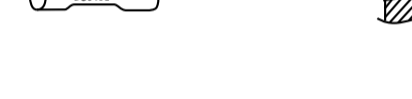
●有機溶剤がかかる場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。

●次のような配管工事はしないでください。

- (1) 極端な曲げ
- (2) 多数回の曲げ



- (3) 接続ダクト径を小さくする
- (4) 壁埋込パイプを室内側に傾斜する(室内側)

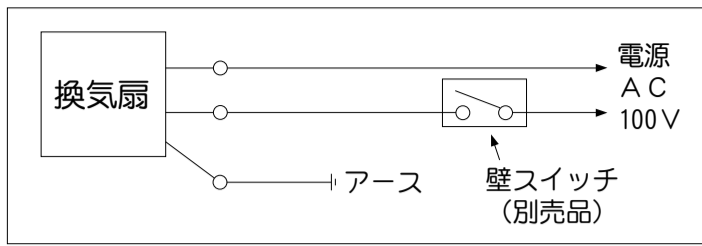


2. 配線工事

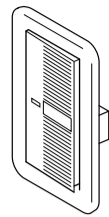
●配線工事は電気工事士がおこなってください。

配線図

- 壁スイッチを使用
(壁スイッチは必ず浴室外に設けてください。)



壁スイッチ(別売品)



TSK-D1CR0.5

ON	運転するとき
OFF	停止するとき

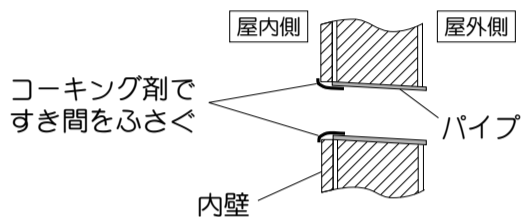
3. 本体の取り付け

- 壁・天井同様の取り付け方です。
- イラストは100Yを示します。

お願い

あとから内壁の工事をした場合、下図のようにパイプと内壁に、すき間ができる場合がありますので、必ずコーキング剤などですき間をふさいでください。

- 内壁と壁面の間に湿気が入り込むのを防ぎます。



警告

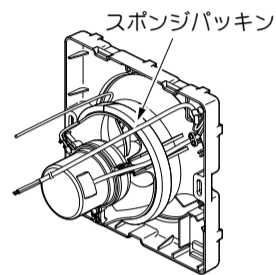
- 電源コードとブレーカー側配線コードとの接続は電線に合ったリングスリーブなどを使用し、専用のカシメ工具で確実にカシメ接続をし、絶縁処理をしてください。

接続が不十分な場合、発熱する恐れがあり、焼損や火災の原因となります。

- 電線部分が電源端子外側に露出しないように確実に差し込む。感電や火災の原因になります。

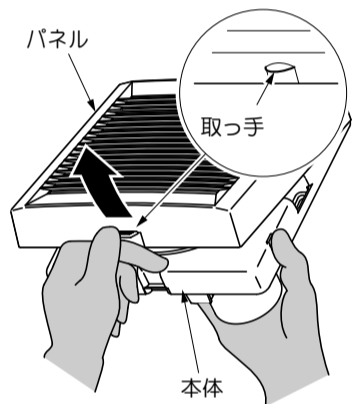
注意

取り付けの際、本体外周のスポンジパッキンを外さないでください。

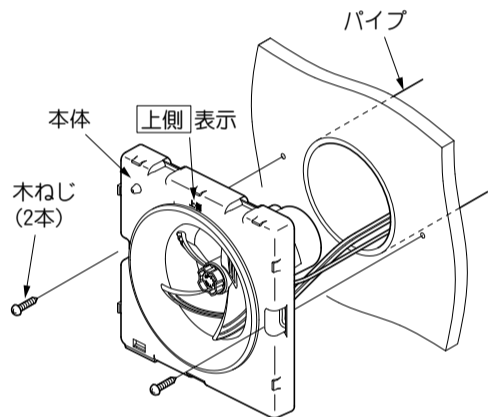


①パネルをはずす。

- パネル下面の取手に指を引っ掛け手前に引いてははずす



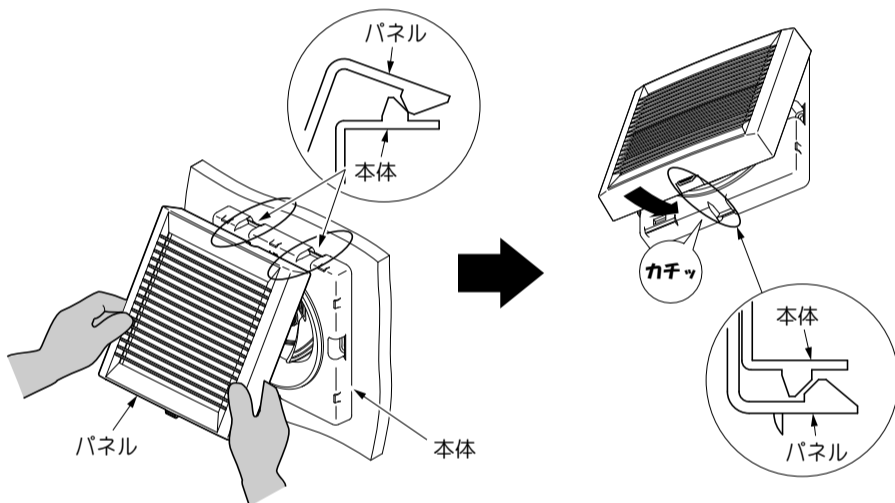
②本体をパイプに差し込み、付属の木ねじ(2本)で必ず固定してください。



- 壁、傾斜天井に取り付ける場合は、上側表示を上にして取り付けてください。

③パネルを本体に取り付ける。

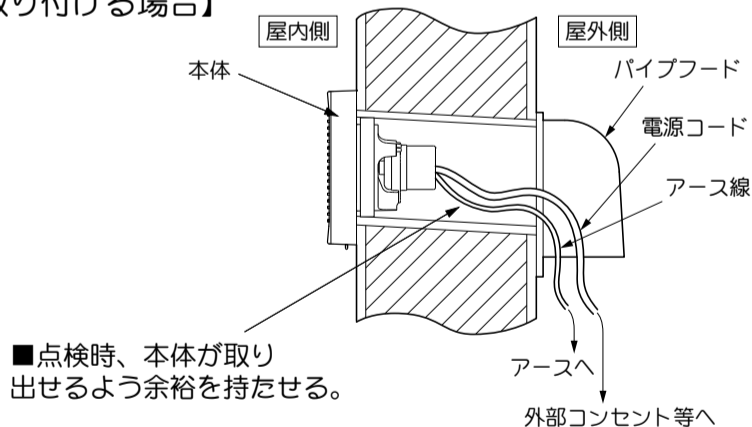
- (1) パネルを本体上部の溝(2ヶ所)にパネルの爪を引っ掛け、壁面側にゆっくりおろし、下側の溝(1ヶ所)にカチッと音がするまで壁面側に押しつける。
- (2) 取り付け後は、確実に取り付けられているかパネルを軽く引っばって確認する。



④結線方法

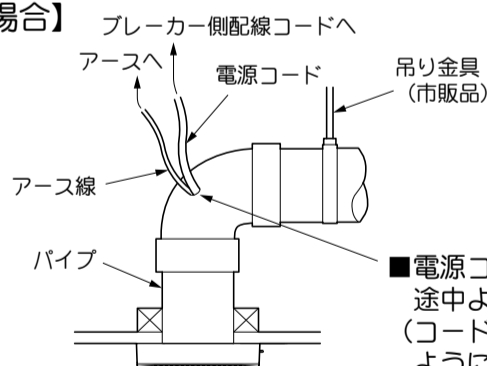
- 電源コードやアース線が羽根に当たらないように施工してください。
- 電源コードとブレーカー側配線コードとの接続は電線に合ったリングスリーブなどを使用し、専用のカシメ工具で確実にカシメ接続をして絶縁処理をしてください。

【壁に取り付ける場合】



- 点検時、本体が取り出せるよう余裕を持たせる。

【天井に取り付ける場合】



- 電源コードとアース線をパイプの途中より出して結線してください。(コード出口より湿気がもれないようにしてください。)
- 天井に取り付けの時には、点検口を必ず設けてください。

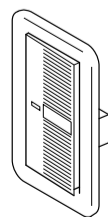
4. 試運転

壁スイッチ(別売品)で操作してください。

- 壁スイッチ(別売品)を「入」にして試運転を行い、異常がないか次のことを確認してください。

- ・羽根は回っていますか。
- ・異常な振動、音がでていませんか。

壁スイッチ(別売品)



TSK-D1CR0.5

ON	運転するとき
OFF	停止するとき

高須産業株式会社
TSK 換気システム

本社/〒311-2404 茨城県潮来市水原3080
TEL 0299-67-5151 FAX 0299-67-5120
ホームページアドレス <https://www.takasu-tsk.com>
メールアドレス info@takasu-tsk.com